

# 化学療法治療レジメン

申請書  
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	MM-6 E-Ld	総投与時間：約2.7 - 3.5時間
申請医：青島 敬二Dr	催吐性リスク：最小度	最新登録日：2021年 8月

	薬剤名	投与方法	sw	投与日	クール
	エムプリシティ	div	10mg/kg	D1,8,15,22 (3クール目以降はD1,15)	4週間
	レブラミド	p.o	25mg/body	D1-21	
	レナデックス(DEX)		28mg/body (3クール目以降のD8,22分は40mg/body)	D1,8,15,22	
	デキサート(DEX)	div	8mg/body	D1,8,15,22 (3クール目以降はD1,15)	
対象(適応癌種)	再発又は難治性の多発性骨髄腫				

薬品名【投与量】		投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日	
Rp1	カロナール(500) 1錠服用 生食 50mL デキサート注 6.6mg ポララミン注 1A ザンタック注 1A	div (ケモセーフ フィルター付 使用)	500mL/hr			D1,8,15,22 (3クール目 以降は D1,15)	
Rp2	生食 100mL		200mL/hr				
Rp3	エムプリシティ注【           mg/body】 生食 230mL (生食250mLから20mL抜き取る) ※300mg/バイアル製剤は13mL、 400mg/バイアル製剤は17mLの注射用 水で溶解し、25mg/mLの濃度とした後、 必要量を抜き取る ※体重46kg未満の患者では、生食の容 量が5mL/kgを超えないように調節するこ と		別表参照 infusion reactionの 発現に 要注意	10mg/kg	mg/body		
Rp4	生食 50mL		500mL/hr				
Rp5	レブラミド(5)【           】T/朝食後	p.o			25mg/body	mg/body	D1-21
Rp6	レナデックス(4)【           】T/朝・夕食後				28mg/body (3クール目以 降のD8,22分は 40mg/body)	mg/body	D1,8,15,22

### エムプリシティの投与速度

投与時期		投与速度(mL/hr)		
		投与開始 0-30分	投与開始 30-60分	投与開始 60分以降
1クール目	初回投与	30mL/hr	60mL/hr	120mL/hr
	2-4回目投与	60mL/hr	120mL/hr	